

令和2年度 磐田市立豊浜小学校 学校評価書

令和2年3月

教育目標
重点目標

「挑戦し高め合う子」
知「学び合う」徳「認め合う」体「鍛え合う」

評価 %.....自己評価「そう思う」「だいたいそう思う」と回答した人の百分率
ABC.....3者の百分率平均値 A85%以上 B60～84% C60%未満

重点	目標・取組	設問 (☆は磐田市共通評価項目)		評価者			評価	考察(○)・改善策(※)	学校関係者評価委員から
				児童	保護者	教職員			
学び合う	(ア) 学びを「自分ごと」としてとらえ、進んで学ぼうとする。 (イ) 仲間とともに学び合い、問題解決的な思考をする。 (ウ) ふるさと豊浜について、かかわりを深めて学ぶ。 (エ) 読書に親しむ。	☆ 子どもたちは	授業の内容がよく分かる。	93%	91%	100%	A	<p>「授業の内容がよく分かる。」 ○3者ともに評価が高く、昨年度との比較でも評価が上がっている。 ※一方、基礎的な内容が定着していない児童も一定数存在する。子どもが主体的に学習に取り組み力を伸ばすことができるような授業改善を進めるとともに、朝活動や昼の学習タイムを活用し、個へ対応した指導を行う。</p> <p>「進んで先生に聞いたり自分で調べたりしている。」 ※保護者、教職員の評価が低く、特に保護者の評価が低いことから、家庭での言動や家庭学習に取り組む姿から、主体性が感じられないと考えられる。各種便りやホームページ、懇談会等で子どもたちの良い表れを伝えと共に、「豊浜小家庭学習の手引き」の活用を進める。</p> <p>「豊浜の歴史や自然について関心がある」 ※3者の平均は高いが保護者の評価がやや低くなっている。今年度は感染症対策のため地域に出向いて学んだり、地域の方と関わったりする機会が減ったことも一因であると考えられる。地域学習の新たな方法を模索し、充実を図る。</p> <p>「友達や先生と英語で質問したり答えたりすることができる。(5・6年生のみ)」 ※保護者の評価が低い。児童の評価は高いことから、授業での英語活動は充実していることが読み取れるので、保護者へ「外国語科のねらい」や「活動」について発信し理解が得られるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習理解について、教職員の評価が100%なのは素晴らしいと思う。一方、7%の子どもは「分からない。」と答えているので、学習の一層の充実をお願いしたい。 ・自主学習ノートに、疑問や興味を持ったことなどをしっかり調べてまとめていて素晴らしい。復習の意識も高い。たくさんの子に波及してほしい。 ・「豊浜の歴史や自然に関心がある。」の保護者の評価が低いのは、年齢が若かったり地元の出身でなかったりすることが一因ではないか。祖父母世代の協力を得て学んでいけたら良いと思う。 ・地域の良さを知りコミュニケーションを図ることができるといいイベントを、地域づくり協議会で企画していきたい。 ・外国語が楽しいことを高く評価したい。 ・外国語の授業は、グローバル人材育成の上でも良いと思う。
		☆ 子どもたちは	進んで先生に聞いたり自分で調べたりして学習している。	89%	71%	83%	B		
		☆ 子どもたちは	豊浜の歴史や自然について関心がある。	90%	78%	92%	A		
		☆ 子どもたちは	地域の人たちと学校や地域で関わっている。		88%	100%	A		
		子どもたちは	自分の考えを友達に分かりやすく伝えている。	84%	77%	92%	B		
		☆ 子どもたちは	外国語活動の授業が楽しい。	90%	93%	100%	A		
		☆ 子どもたちは	友だちや先生と英語で質問したり答えたりすることができる。(5・6年生のみ)	81%	61%	100%	B		
認め合う	(ア) 自他を尊重する。 (イ) さわやかあいさつを心掛ける。 (ウ) 相手や場に応じた言葉遣いを心掛ける。 (エ) 黙々と掃除に取り組む。 (オ) 感謝の気持ちを持ち行動する。	子どもたちは	友達のことを考えて行動できる。	91%	92%	100%	A	<p>○全体的に高い評価となっており、「学校が楽しい」に対する児童の評価も昨年度より上がっている。臨時休校や学校行事の変更等による児童の心身への影響が心配されたが、家庭・地域・学校の関わりにより、児童が安定した学校生活を送ることができていることが伺える。</p> <p>「場面に応じて言葉のつかいわけができる。」 ※7月に児童と教員を対象に実施したアンケートの結果、この項目の評価が低かったため、2学期以降重点的に指導を行ってきた。「職員室への出入りのあいさつ」「授業中の言葉づかい」に場面を絞り、子どもたちへ具体的に指導した結果、児童と職員の評価は上がったが、保護者の評価は低い。家庭での表れに大きな変化がなかったことが一因であると考えられる。学校における良い表れを広く発信するとともに、学校外での言葉の使い分けについて、PTAの会合や学級懇談会、地域懇談会等の場で家庭・地域と連携し取り組みについて考えていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校が楽しい。」ことは最も重要なので、評価が高くとれしく思う。 ・あいさつについては個人差がある。学校だけでなく地域で育てる意識が必要だと思う。 ・場面に応じた言葉の使い分けは、3世代世帯、小規模親密空間では身に付きにくいと考える。 ・言葉づかいを学校生活の中で意識させるのは良いことだと思う。 ・言葉づかいは学校任せでなく、将来のことを考えて「家庭でしつけることが大事」と学校からも強く保護者へ発信していく必要があると思う。
		☆ 子どもたちは	学校が楽しい。	94%	95%	100%	A		
		☆ 子どもたちは	私たちの学級(学校)は、互いにルールを守り、協力する雰囲気がある。	93%	94%	92%	A		
		子どもたちは	さわやかあいさつができている。	94%	94%	92%	A		
		子どもたちは	場面に応じて言葉のつかいわけができる。	91%	76%	83%	B		
		子どもたちは	学校をきれいにするために進んで活動している。(黙々そうじ、ナイスライタイム)	95%	93%	100%	A		
鍛え合う	(ア) 元気に運動する。 (イ) 適切な目標をもって努力し、最後まで頑張り抜く。 (ウ) 良好な生活習慣を身に付ける。	子どもたちは	外で元気に遊んでいる。	96%	94%	100%	A	<p>「目標をもって運動や行事に最後まで取り組むことができている。」 ○3者ともに高い評価である。運動会や長縄集会に向けての1か月を強化月間と位置付け、常に子どもたちが意識できるように働き掛けた結果が表れていると考えられる。 ※昨年度で「水泳大会」「陸上大会」が終了したことから、目標に向けて粘り強く取り組む機会が減っている。体育科の授業の中で、自分の伸びを意識しながら学習することができるように、更なる授業改善に取り組んでいく。</p> <p>「健康10か条を意識している」 ※食事や睡眠、生活リズムに課題がある児童が一定数存在する。健康チェックカードや保健だよりを通じて全体へ働き掛けるとともに、個人面談や連絡帳・電話による家庭への連絡等で個別に対応する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よく遊び、運動や行事にも取り組んでいることは評価できる。 ・目標があることで意識も上がるので、先生方が働き掛けをし、家庭でも応援することが大切だと思う。 ・以前のように陸上・水泳等の大会がなくなり、体を動かす機会が減っている。学校独自でクラス対抗や地域対抗などの大会を企画するのも面白いと思う。 ・コロナによる環境の変化で子どもたちの運動能力や体力が心配される。 ・健康は自分で守る意識をもってほしい。(生活、食事、健康診断など)
		子どもたちは	目標をもって運動や行事に最後まで取り組むことができている。	95%	96%	100%	A		
		子どもたちは	健康10か条を意識している。	88%	85%	100%	A		
小中一貫	(ア) 中1ギャップの緩和 (イ) 自尊感情の涵養	学府 子どもたちは	自分にはよいところがあると思う。	80%	93%	100%	A	<p>「自分にはよいところがあると思う」 ※児童の評価が昨年度よりも下がっている。臨時休業や感染症対策のために、学習や行事の内容が変更になり、達成感や自己有用感を味わう機会が減っていることが一因であると考えられる。個々への対応を進めるとともに、新しい授業・行事の在り方を模索し実践していく。</p> <p>「小中一貫教育のよさを感じている」「中学校での生活を楽しみにしている」 ※保護者の評価が低い。今年度は、臨時休業や感染症対策のために、交流活動が取り止めになったことや、磐田市の小中一校一体化推進に対して先行きの見えなさを感じていることが一因ではないかと考えられる。今年度はリモートによる小中交流を実施するなど新しい取り組みを進んでいるため、更なる工夫をしながら交流活動を進め、小中一貫教育について発信していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感が高まるよう成功体験やほめられる場面を増やしてほしい。 ・11月の学校公開日に、図工室で中学校の様子を動画で紹介していて、とてもいい取組だと感じた。 ・今年度はコロナの影響で、中学生の合唱や吹奏楽の演奏等に触れる機会がなくなってしまったので、来年度は、学府としてできることをさらに検討してほしい。 ・小中一貫教育について、丁寧な説明が必要だと思う。
		わたしは	小中一貫教育のよさを感じている。		72%	100%	A		
		子どもたちは	中学校での生活を楽しみにしている。	86%	82%	100%	A		
家庭地域との連携	学校の様子について情報公開することを通して、職員への信頼や教育活動への協力・支援を得る。	私は	豊浜小の目指す子どもの姿や教育内容について知っている。		83%	100%	A	<p>○各項目の評価結果から、学校教育活動に対して保護者の理解が得られていることがうかがえる。 ※学校公開日、授業参観会、懇談会、PTA総会、日常的な保護者とのやり取りの中で、目ざす子どもの姿を共有し、学校、家庭、地域が連携して学校教育目標の具現化を図る。 ※地域とともにある学校づくりを推進するため、引き続きコミュニティ・スクールの効果的な取組を模索していく。保護者と、地域と、学校外資源と、学府と、「つなぐ」をことを意識した教育課程を効果的、効率的に実施していくためにも、地域の教育力を積極的に導入し、学校教育活動のさらなる充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校への直接の関わりのない地域の方にも、より開かれた学校になってほしい。(ふるさと学習室の公開日や設ける、昔の遊びを教える等) ・学校ボランティア募集は、地域づくり協議会としても協力していきたい。 ・地域行事への参加の機会が失われ、郷土愛を育む土壌も減少しているのではないかと心配している。自尊感情を育むためにも地域でも子どもに目を配り、認めほめる場を多くもちたい。
		豊浜小の教職員は	基礎的な学力が付くように努力している。		95%	100%	A		
		☆ 豊浜小の教職員は	子どものことを理解して指導にあたっている。		95%	100%	A		
		豊浜小の教職員は	「挑戦し高め合う子」になるよう支援・指導をしている。		95%	100%	A		
		☆ 豊浜小は	学校の規模や地域を生かした特色ある教育活動を行っている。		97%	100%	A		
豊浜小は	地域・保護者の方に学校の様子など情報をよく公開している。		96%	100%	A				
学校関係者評価を受けてのまとめ		<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の結果や学校運営協議会の話し合いを受け、学校・家庭・地域が連携した効果的な取組について具体的な手立てを共通理解し進めていく。 ・感染症対策のために縮小や取り止めが必要な活動については、家庭や地域の協力を得ながら、子どもたちにとって効果的なものとなるように見直したり新たなものを考えたりしていく。 ・小中一貫教育の推進に向け、現在の取組みや効果を家庭・地域へ発信し、より良いものとなるように地域懇談会やPTA活動の中で意見交換を行い、さらなる充実を図る。 							